

### 令和6年度予算に 対する総括質問(要旨)

3月14日、15日  
審査委員会  
特別委員会

◆総括質問の全文(会議録)は、6月上旬にホームページに掲載します。  
◆スマートフォンなどで2次元コードを読み取ると、各議員が総括質問をしている動画にアクセスできます。

#### 横川たかゆき

(自民党)

前野町三丁目集会所跡地の活用について問う

問 地域要望である防災広場の設置を。

答 板橋区公共施設跡地活用方針に基づき、地域要望を踏まえつつ、将来的な行政需要

#### 山田たかゆき

(自民党)

学校給食残菜の堆肥化を問う

問 調理の過程で発生する残菜などについて、コンポストでの堆肥化を行う可能性は。

答 学校の敷地内にコンポストを設置する場合、温度管理などが必要となるが、実現可能性はあると考えている。

不登校対策について問う

問 教室以外の居場所づくりの拡充を進めるべき。

答 5年度より中学校3校を居場所推進校と指定し、教室以外の居場所づくりについて、取組みを実施している。今後その成果を検証し、効果的な居場所づくりを検討していく。

能登半島地震の教訓を問う

問 何を教訓に、地区防災計画の改定を行っていくか伺う。

答 避難所での物資不足や要配慮者対応などが大きな課題になった。地区別防災マニュアルを改定し、地区防災計画として位置付ける予定である。

#### 川口雅敏

(自民党)

防災対策・かわまちづくり計画について問う

問 感震ブレイカーの設置支援について、現時点での検討状況及び方向性は。

答 都が配付した種類に限定せず、いくつかのタイプを検討している。今後、都の事業の効果などを検証し、スピード感を持って検討していく。

問 防災ガイド・ハザードマップの避難所一覧の番号を、

#### さかまき常行

(公明党)

防災対策について問う

問 災害ボランティアセンターの平常時の取組みは。

答 運営スタッフ養成講座などを開催し、多様な機関・団体との連携・協働を強化するための事業を実施している。

ヤングケアラー支援を問う

問 支援体制について、今後どのように検討・構築していくのか。見解は。

答 関係所管と連携し、包括的な相談体制を構築する中で併せて検討していく。

いたばしPayについて問う

問 都の地域通貨プラットフォームとの連携による相乗効果を期待する。見解は。

答 都の動向を注視するとともに、いたばしPay利用者にとっても有利な制度設計となることを期待している。

職場環境の最適化を問う

問 区が整備するハラスメントに関する体制と処分規定は、区議会も包括されるのか伺う。

答 区が雇用する職員などを対象としているため、区議会の事案は対象とならない。

#### おばた健太郎

(民主クラブ)

防災対策について問う

問 区は家庭内備蓄率を56%と算出しているが、数字の基

である東京防災プラン進捗レポートを確認すると約17%と読み解ける。備蓄率の再考を

答 備蓄物資の最適化を進める中で、備蓄量や備蓄品目を精査していく考えである。

文化芸術振興について問う

問 文化会館のロビーピアノ

整備について問う

問 具体的な事業内容について、検討状況は。

答 交流・知識・文化という3つのテーマにふさわしい事業を展開する施設として、類似施設などの事例研究を進めながら、テーマに合った利用を想定し具体的な事業を検討している。

#### 田中いさお

(公明党)

災害対策について問う

問 6年度から実施の浸水深表示について、今後の予定は

答 6年度は、新河岸・舟渡地区の電柱及び区立施設などに表示するとともに、高島平・蓮根地区の区立施設などに表示する予定である。

問 災害ボランティアセンターの設置場所について、再検討が必要と考えるが、見解は。

答 現時点では、小沢体育館に設置する想定である。一方で、交通便利性の高い場所に設置するという観点も必要であり、より効果的な場所があれば検討していく。

問 応急給水栓が設置されている避難所を給水拠点にするよう求める。見解は。

答 応急給水栓を設置している避難所は、63か所と認識している。設置されていない避難所では、スタンドパイプを利用して、消火栓から水を供給する想定であり、各避難所が給水拠点になる一定の役割を果たすと認識している。

#### 中妻じょうた

(民主クラブ)

高島平まちづくりを問う

問 高島平駅前に駅前広場を整備し、バスターミナルやタクシープールを確保すべき。

答 鉄道とバス・タクシーなどの乗換え利便性を高める視点が重要であり、将来を見据えた交通機能の整備のあり方を検討していく必要がある。

問 物流拠点機能の一端として、トラックターミナルに23区初の道の駅を整備すべき。

答 物流施設に代えて誘致することは困難であるが、生活利便性の向上につながる施設整備に向けては、引き続き、事業者と協議していく。

#### 高沢一基

(民主クラブ)

富士山降灰対策について問う

問 土木や清掃など、屋外で作業する職員用のゴーグルや防塵マスクの備蓄をすべき。

答 都の地域防災計画が改定され、区の地域防災計画を修正する過程で検討していく。

キャッチボールができる環境づくりを問う

問 地域の有志の方々の管理のもと、公園でボール遊びができる仕組みづくりをすべき。

答 提案の方式は、本来めざすべき姿である。団体などからの申請があれば、公共性など所要の確認を行ったうえで許可することは可能と考える。

#### 小柳しげる

(共産党)

既存建築物の断熱化の推進を問う

問 住宅の断熱改修助成について、改めて区独自の助成を行うべき。

答 断熱に関する制度の動向や、他自治体の状況、区の執行体制を含め検討していく。

文化芸術政策の拡充を問う

問 児童・生徒が鑑賞教室など芸術に触れる機会を増やす取組みを学校が行えるよう、教育委員会として予算化を。

答 現在、芸術鑑賞教室など全体として実施する予算化は考えていないが、今後も文化芸術に触れる機会の創出に向けて働きかけていく。

#### 山内えり

(共産党)

災害時のトイレの確保を問う

問 備蓄している携帯トイレの点検と総量を増やすべき。

答 古くなったものもあつたため、6年度予算では、更新する経費を約8万枚分計上した。また、備蓄量の精査を行

う予定である。  
問 一人ひとりの子どもに向き合うには、1学級あたりの児童数が35人では多すぎるため、少人数学級の拡大を国に求めるべき。

答 国や都の動向を注視し、教職員の働き方改革の推進に努めていく。

#### いわい桐子

(共産党)

基金を活用した家賃助成を問う

問 家賃助成にも使える住宅基金を活用し、非正規雇用の多い青年層や単身女性などへの家賃助成を検討すべき。

答 区営住宅の改築事業に充てており、将来負担などを考慮すると、現時点で実施を検討する考えには至っていない。

駐輪スペース不足を問う

問 高島平駅西口と西高島平駅の当日利用分の不足にどう応えるのか示すべき。

答 増設は指定管理者と協議し、6年3月下旬以降、機器の設置工事に着手する。高島平駅西口は69台、西高島平駅Eエリアは12台の増設予定。

#### 小野ゆりこ

(日本維新の会)

板橋グリーンカレッジを問う

問 リベラルアーツ教育の、物事を多角的に見る視点や柔軟な対応力を身に付けることは、生き抜くための助けとなると考える。板橋グリーンカレッジで取り入れる予定は。

答 リベラルアーツの視点を取り入れ、プログラミングなど幅広い学びの機会を提供する。理解した内容をアウトプットする機会を増やし、豊かな学びの実現をめざしていく。

#### しいなひろみ

(無所属議員)

ベジテックの有効活用を問う

問 野菜摂取の充足度を測定するベジテックを活用し、食生活向上の一助にすべき。

答 栄養事業や各種イベントでの活用など、幅広い世代に体験してもらう予定である。

#### 坂田れい子

(参政党)

歴史教科書採択を問う

問 自尊的な歴史観に基づく教育が生徒の成長に大きく寄与すると考える。見解は。

答 社会の形成者に必要な資質を育成できるよう、学校教育の充実に取り組んでいく。

#### 井上温子

(いたばし未来)

こどもの居場所計画を問う

問 学区ごとの居場所づくりを計画的に進めるべき。

答 次期「いたばし子ども未来応援宣言」の策定を予定しており、居場所づくりなどの計画への反映を検討していく。

多機能拠点への予算化を問う

問 常設型の居場所を運営する団体に助成を行うべき。

答 支援のあり方については、居場所の全体像の作成と併せて研究していく。